

W. Eスキークラブ通信

第
83
号

発行 2025年3月9日

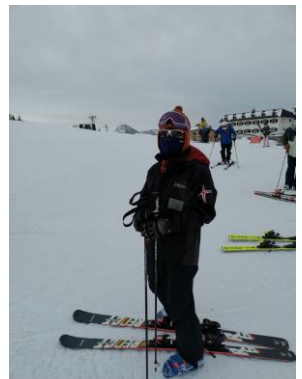
発行責 松尾佳和



西館山スキー場を背にこれから頑張って滑走します

**WE スキークラブシーズン最後の志賀高原スキー3月3日から6日男性6名、女性2名が参加
参加者の皆さんのボランティア精神に支えられて無事終了。**

**妙高山・黒姫山・飯綱山などの雄大な景観も楽しみながら各ゲレンデを滑走、シーズン最後の
スキーを楽しみました。**



＜スキー行の記録＞

往路でいきなり特急しなのが倒木の影響で遅延、乗り継いだ急行バスも乗り換えのアクシデントで初日の滑走は断念。先行き心配が募るが温泉で英気を養い明日に備える。

2日目は高天ヶ原マンモススキー場からタンネの森オコジョスキー場を通り一ノ瀬スキー場を滑走、さらに寺子屋スキー場へ行き全員快調にとぼす。そして一ノ瀬に戻り昼食。

昼食後は一ノ瀬山の神ゲレンデから焼額山スキー場へ。第2・第1のゴンドラを乗り継ぎ奥志賀スキー場を目指すも第一ゴンドラ運休で断念し、高天ヶ原スキー場へ戻り2日目終了。

2日目は各スキー場からの眺望もよし満足のスキー行となった。

3日目は朝からの強風でリフトが動かずホテル待機となり天候の回復を待つ。13時からリフト運行の情報をへて、高天原ホテルの食堂で昼食、蕎麦類もあり、朝夕のバイキング料理に飽きてきたので、インバウンドでないスキー場の良さを感じるとともに、あらためて野麦峠スキーの宿の食事の良さを思い起こす。

最終日、前日からの強風予報が外れ無風状況で前日から強風なら予定を繰り上げて帰京と考えていたが無事滑れるようになりラッキー。高天原から東館山の林道を通り無人に近い発哺ツナ平のゲレンデではトレイルでシュフールを描く。ジャイアントスキー場はレースが開催されており滑走できず残念。西館山スキー場へ移り最後のスキーを楽しみ無事ホテルに帰還。西館山スキー場は滑走者も少なく野麦峠スキーと似たようなゲレンデで穴場としてお勧めしたいゲレンデであった。皆満足の滑走で終われたことを喜ぶ。

帰路は1時間30分程前の急行バスで帰るがホテルにザックを忘れた方がありどうなることかと心配するが、全員10時前には各自自宅に無事帰る。



北信5山（妙高山・黒姫山・飯綱山・戸隠山などを見ながら） シーズン最後のスキーを祝って

今シーズンは梅池、野麦峠の例会、志賀高原と3回のスキー行を実施しのべ23名が参加。

ジパングクラブの加入、車の提供や運転、障害者割引の利用など各氏のご協力で可能な限り安価でスキーが楽しめるよう新たな取り組みも始めました。高齢化がすすみ行事にご参加いただけない方も増えてきましたが、クラブ員皆さんの英知を集めてクラブの名に恥じないよう今後のクラブ行事を考えて行きたいと思います。

皆様方の積極的なご参加をお願いします。（事務局 松尾佳和）